

株式会社ミュージックバード

第70回番組審議会 議事録

1. 開催日時 平成28年7月27日(水) 15時00分～16時30分
2. 開催場所 TOKYO FM 10階 大会議室
3. 出席者
＜番組審議会委員＞
矢内 廣 委員長
松尾 修吾 副委員長
福本 ゆみ 委員
中西 健夫 委員
村井 裕弥 委員

欠席 佐野 光徳 委員

＜ミュージックバード＞
代表取締役社長 雄谷 英一
常務取締役 大橋 明夫
取締役技師長 土屋 充央
技術部顧問 江森 武男
コンテンツ事業部グループリーダー 岩崎 育郎
コンテンツ事業部ユーザー 田中 美登里
4. 議事内容
(1) 放送活動のご報告
(2) 番組試聴
(3) その他の活動
5. 配布資料
(1) 第70回番組審議会資料
(2) 第69回番組審議会議事録

(1) 主な放送活動報告

<121ch THE CLASSIC>

【WORLD LIVE SELECTION】 (土・日 22:00~24:00)

4月…「ウィーン芸術週間 2015」2015年に生誕150年を迎えたフィンランドの国民的作曲家、
ジャン・シベリウスの交響曲第1番&第2番を2夜連続ほかを放送。

4月2日/ヴァンスカ指揮ウィーン交響楽団のシベリウス1番

4月3日/パツパーノ指揮ローマ聖チェチーリア音楽院管弦楽団のシベリウス2番

4月9日/ウィーン生まれティル・フェルナー (P) の「クライスレリアーナ」

4月10日/結成20年!ベルチャ弦楽四重奏団

4月16日/ルイ・ラングレー指揮カメラータ・ザルツブルクの「リンツ」

4月17日/鬼才!コパチンスカヤ (Vn) のバルトーク

4月23日/ラトル指揮ウィーン・フィルのハイドン: イマジナリー・シンフォニー

5月…「シューベルトティアデー 2015」オーストリア・フォアアールベルク州の小さな街ホーエナムスに、
世界トップクラスの演奏家が集まりシューベルトにゆかりのあるプログラムを演奏するコンサート。

5月7日/ベチャワ (T) が歌う「美しき水車小屋の娘」

5月8日/ダムラウ (S) シューベルトを歌う

5月14日/夫婦で共演!ヘルムヘン (P) &ヘッカー (Vc)

5月15日/テツラフ (Vn) ヘッカー (Vc) ヘルムヘン (P) 他、「ドゥムキー」&「ます」

5月21日/ブルス (T) J. プレガール (T) シュツワルト (Br) 他、男が歌うシューベルト!

5月22日/エルマン (S) キルシュガー (Ms) シュミット (T) ほか豪華共演! シューベルトの自然への讃歌

5月28日/ウィーン芸術週間⑧ハーディング指揮ウィーン・フィル「大地の歌」

6月…「ケルンテンの夏 2015」

6月4日/輝けるパロック・トランプ〜イムジチ合奏団&ガホル・ホルトツィ (Tp)

6月5日/弦に酔う〜ピンカス・ズーカーマン (指揮、Vn) カメラータ・ザルツブルク

6月11日/イギリスから若手注目弦カル〜ドーリック弦楽四重奏団

6月12日/オランダから若手注目弦カル〜デュドック四重奏団

6月18日/アダム・フィッシャー指揮バンベルク交響楽団の「夜の歌」

6月19日/フィリップ・ジョルダン指揮ウィーン交響楽団の勝負曲「グレート」

<ウィーン・フィル定期演奏会>

6月25日/マリス・ヤンソンスが指揮する20世紀ロシア・プロ

【THE CLASSIC SPECIAL】

「ストラディヴァリウスの華麗なる饗宴 Vol.1&Vol.2」

4月30日(土) & 5月1日(日) 22:00~24:00

【音源提供: 日本音楽財団 出演: 田中美登里】

<122ch THE JAZZ>

【THE GIANTS モダン・ジャズの巨人たち】 (月~木 15:00~17:00 再放送/土 16:00~24:00)

3月28日~31日・4月4日~7日/マイルス・デイヴィス(tp)特集

4月11日~14日/ビル・エヴァンス(p)特集

4月18日~21日/スタン・ゲッツ(ts)特集

4月25日~28日/ウェス・モンゴメリー(g)特集

5月2日～5日／オスカー・ピーターソン(P)特集
5月9日～12日／チャールズ・ミンガス(B)特集
5月16日～19日／バド・パウエル(P)特集
5月23日～26日／セロニアス・モンク(P)特集
5月30日～6月2日／チェット・ベイカー(Tp/Vo)特集
6月6日～9日／エリック・ドルフィー(Sax)特集
6月13日～16日／クリフォード・ブラウン(Tp)特集
6月20日～23日／アート・ブレイキー(Dr)特集

<124ch THE AUDIO>

7月新番組 「月刊 stereo 連動～激辛優秀録音・音のびっくり箱～」

隔週月曜 10:00～11:00 再放送＝月曜 21:00～22:00 (※翌週リピート)

月刊「stereo」で連載中の炭山アキラ(オーディオ・ライター)のコラムとのタイアップによるオーディオ・ソフト番組。”オーディオの神様”長岡鉄男氏の高弟である2人、炭山と高崎素行(オーディオソフト・アドバイザー)が出演。

(2) 番組試聴

◆WEEKEND SPECIAL 「追悼 富田勲～トミタ・サウンドの秘密に迫る」

放送日時：7月3日(日) 16:00～22:00

出演：有馬純寿(音楽家)、田中美登里

番組内容：今年5月5日に84歳で亡くなった作曲家でシンセサイザー奏者の富田勲さんを偲んだ特集。ゲストに電子音楽や現代音楽の音響を手がけている音楽家・有馬純寿さんを迎え、富田さんの劇伴音楽や、70年代初頭に日本人で初めて個人輸入したシンセサイザーにより再構築したクラシック音楽の富田勲ならではの創意を一つ一つ、紐解いていきます。どのようにあの「トミタ・サウンド」が作られていくか、未CD化音源のレコード『富田勲の世界』を有馬さんの解説入りで聴いてみましょう。人並みはずれた「音響のソルフェージュカ」とも言える能力と、驚異的な根気強さで、未知の音世界を切り開いた富田勲さんの功績をたどり、遺産「トミタ・サウンド」の秘密に迫る6時間。有馬さんによる選盤の4枚のアルバム『惑星』(1976)、『バミュダ・トライアングル』(1978)、『ダフニスとクロエ』(1979)、『イーハトーヴ交響曲』(2012)をお送りします。

【富田勲プロフィール】

1932年東京生まれ。慶応義塾大学在学中に平尾貴四男、小船幸次郎各氏に作曲を師事。在学中よりNHKの音楽番組の仕事をはじめ、1953年にはNHKラジオの第一放送と第二放送を同時に使用したステレオ音楽番組「立体音楽堂」等の番組に参加。1963年大河ドラマ第1作「花の生涯」の音楽を担当、現在までに「天と地と」「新平家物語」「勝海舟」「徳川家康」の計5本のシリーズを手がけている。また1966年には手塚治虫氏のTVアニメ「ジャングル大帝」「リボンの騎士」の音楽を作曲、従来のアニメ音楽を越える優れた音楽性が高い人気を呼び、交響詩版「ジャングル大帝」は同年の芸術祭奨励賞を受賞した。

1970年頃よりシンセサイザーによる作編曲・演奏に着手。1974年には米RCAよりリリースされたアルバム「月の光」が米ビルボード・クラシック・チャート第1位となり、日本人として初めてグラミー賞4部門にノミネートされ、さらに全米レコード販売者協会(NARM)の1974年度クラシック部門最優秀レコードに選出されるという快挙をなすとげ、TOMITAの名は全世界的なものとなる。以降「展覧会の絵」「火の鳥」「惑星」から「バッハ・ファンタジー」(1996)にいたる多くのシンセサイザー・アルバムを発売、いずれもが世界的なヒットを記録している。



1984年、オーストリア・リンツ市にてドナウ川兩岸の地上・川面・上空一帯を使って超立体音響を構成し、8万人の聴衆を音宇宙に包み込む壮大なイベント「トミタ・サウンドクラウド」を催す。以後ニューヨーク(1986 自由の女神百年祭)、岐阜(1988 中部未来博)、シドニー(1988 オーストラリア建国200年祭)、名古屋(1997 中日ドーム)にて同様のイベントを行なう。また立体音響によるサウンドクラウド・オペラ「ヘンゼルとグレーテル」を渋谷オーチャード・ホールにて上演(1990)。90年代には再び映像音楽への活動を再開、NHK「大モンゴル」、松竹映画「学校」シリーズ、NHK「街道に行く」シリーズ、ビデオ「長嶋茂雄」シリーズなどを作曲。1998年富田音楽の集大成とも呼べるオリジナル作品「源氏物語幻想交響絵巻」を作曲。東京、ロスアンジェルス、ロンドンにて初演の後ロンドン・フィルと録音し、2000年11月に日本コロムビアよりCDを発売。

2001年3月、NHK放送文化賞受賞。東京ディズニーシー、アクア・スフィアのエンタランス・ミュージックとして3面立体音響のためのシンフォニーを作曲。NHK大型ドラマ「聖徳太子」の音楽を担当、東映映画「千年の恋～ひかる 源氏物語」では日本アカデミー賞優秀音楽賞を受賞。

2002年はNHKスペシャル「アジア古都物語」の音楽を手掛け、松竹映画「たそがれ清兵衛」の音楽は日本アカデミー賞最優秀音楽賞に輝いた。

立体音響の集大成として4.1chサラウンドによる「惑星」(DVDオーディオ/ビデオ盤)を2003年3月にリリース。2009年には、「交響詩 ジングル大帝 ～白いライオンの物語～(2009年改訂版)」をリリース。2011年に「惑星 Ultimate Edition」、「源氏物語幻想交響絵巻 完全版」を同時リリース。

【MB】20世紀以降の音楽家は録音物として作品を遺す活動をしているが富田さんはその第一人者とも言える存在。

我々の耳に染みついているメロディが多い。

【委員】富田さんは初音ミクとのコラボなど常に新しい取り組みを行う人、新しいものへの好奇心が旺盛な方であった。

それほど富田ファンとは言えなかったがこの番組で俄然聴きたくなった。

NHKの番組テーマに優れた作品も多いが、当時、現代音楽の作曲家はNHKに発掘されたと言う感があっただろう。

【委員】コメンテーターの有馬さんは若い世代だが富田さんをよく研究している。

【MB】番組としては6時間の長尺だが、最初の2時間は解説をし、4時間はコンパクトな説明で音楽を紹介したことで聴きやすい番組となったと思う。

当社では様々なジャンルの音楽にカテゴライズされる富田氏をクラシックチャンネル以外でも特集した。

(3) その他の活動

◆SONG LIST購読者の各チャネル、番組アンケート結果

【MB】上位3チャンネルはトーク(解説)のあるチャンネルが占めた。

クラシックにおいては「新譜」番組も最も人気がある。

ジャズチャンネルは大きな改編を行ったが、新しい番組は上位に位置している。

オーディオは音楽ジャンルではないが、開始して僅か1年の間に浸透し始めている。

現在80%が演歌の歌謡演歌はあまり聴かれていないため、50歳代以下の方にも楽しめるようにいい音でレコーディングされた時代の歌謡曲を聴けるチャンネルを目指して今後戦略を練り直す計画である。

【委員】歌謡曲のハイレゾ音源はかなり出ており、高音質なものが多い。

【MB】クラシック、ジャズに加えて、70年代80年代の歌謡曲に注力する計画である。

【委員】若い世代がいい音で音楽を聴くこと自体が少なくなっている。特にイヤホン、ヘッドホンだけでなくスピーカーでいい音を聴く習慣を伝えるべき。

【MB】演歌を数多く手掛けてきたプロデューサーからも演歌ニーズが下がってきたという指摘がある。時代が変化してきた感、世代が入れ替わってきた感が強い。

【委員】1970年代の音楽を今のアーティストも数多く取り組み始めている。

【MB】ソングリスト（曲目表）を購入されている方々は録音を取る方が多いが、これとは別に最近の加入者は録音している様子は少ない。傾聴型と聞き流し型の両方のリスナー像が考えられる。

【委員】カセットテープに録音と言う人がいるようだが・・・

【MB】最近のリバイバルブームが起きている。若い世代が面白がっている。

【委員】ハイレゾを追及していくとアナログの音に近づいていく。デジタル臭い音質へのアレルギーを感じる人もかなりいるのではないか。

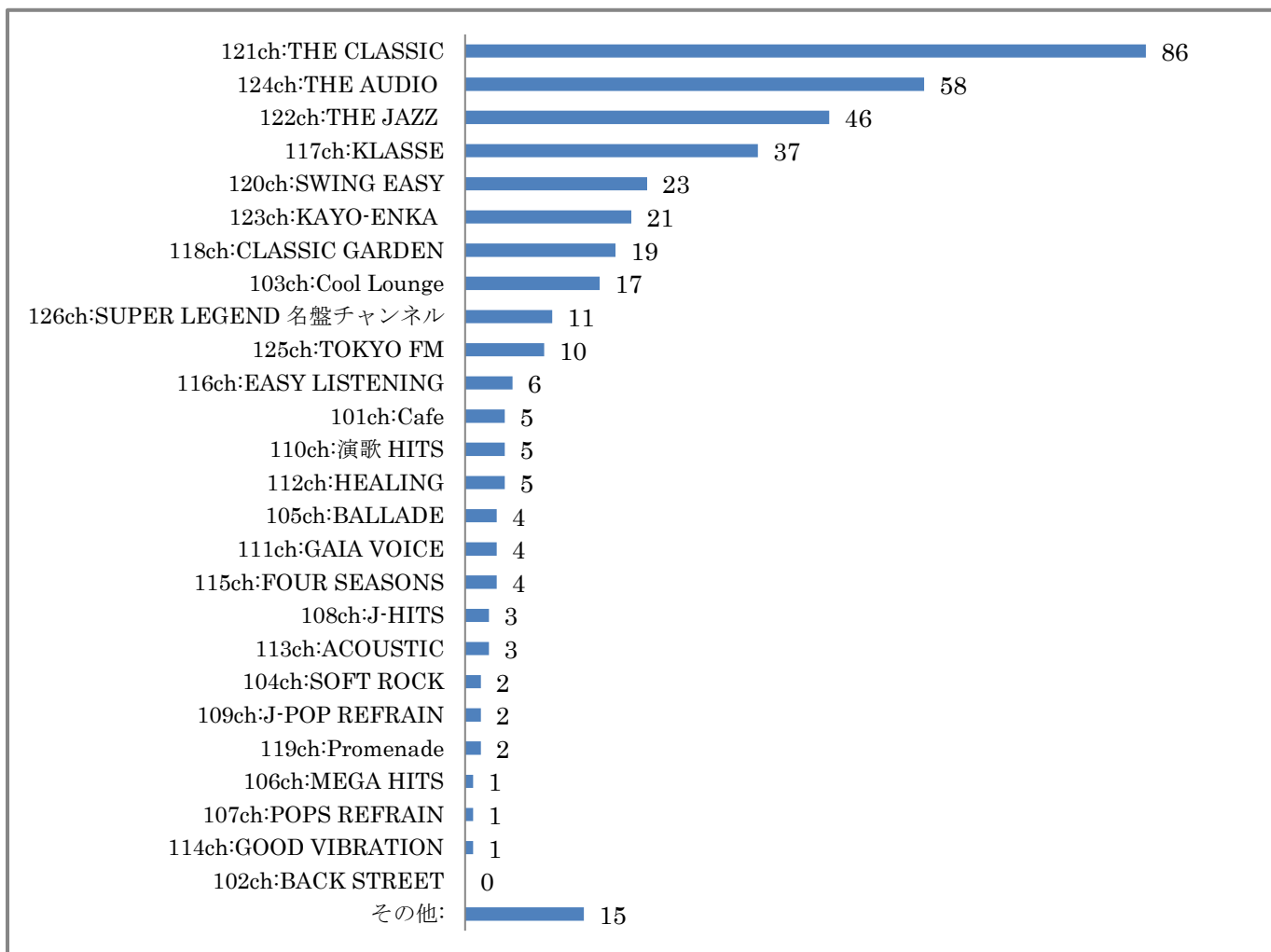
【MB】当社のサービスとしては録音が簡単にできる安心感を作る必要があると考えている。

【委員】音楽を聴く便利さの追求、CDをかけかえることの煩わしさを感じる時代に対応しながら、若い世代にいい音で音楽を聴くことの豊かさの啓発が重要だと思う。ひねりの効いた選曲の妙も重要である。

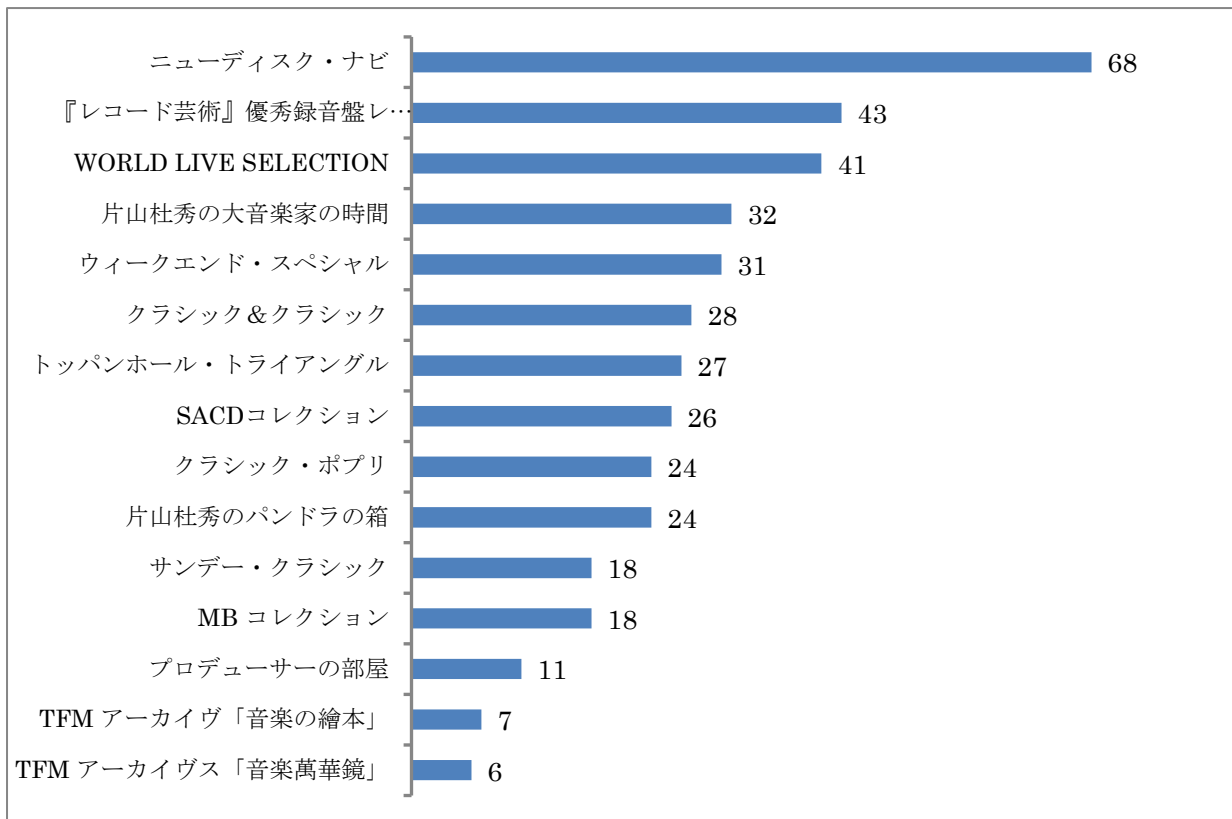
ホームページでの曲目表はアーカイブにしたほうが良い。

またネット上でほんの僅かでも各チャンネルのさわりが聴けるようにしてはどうか。

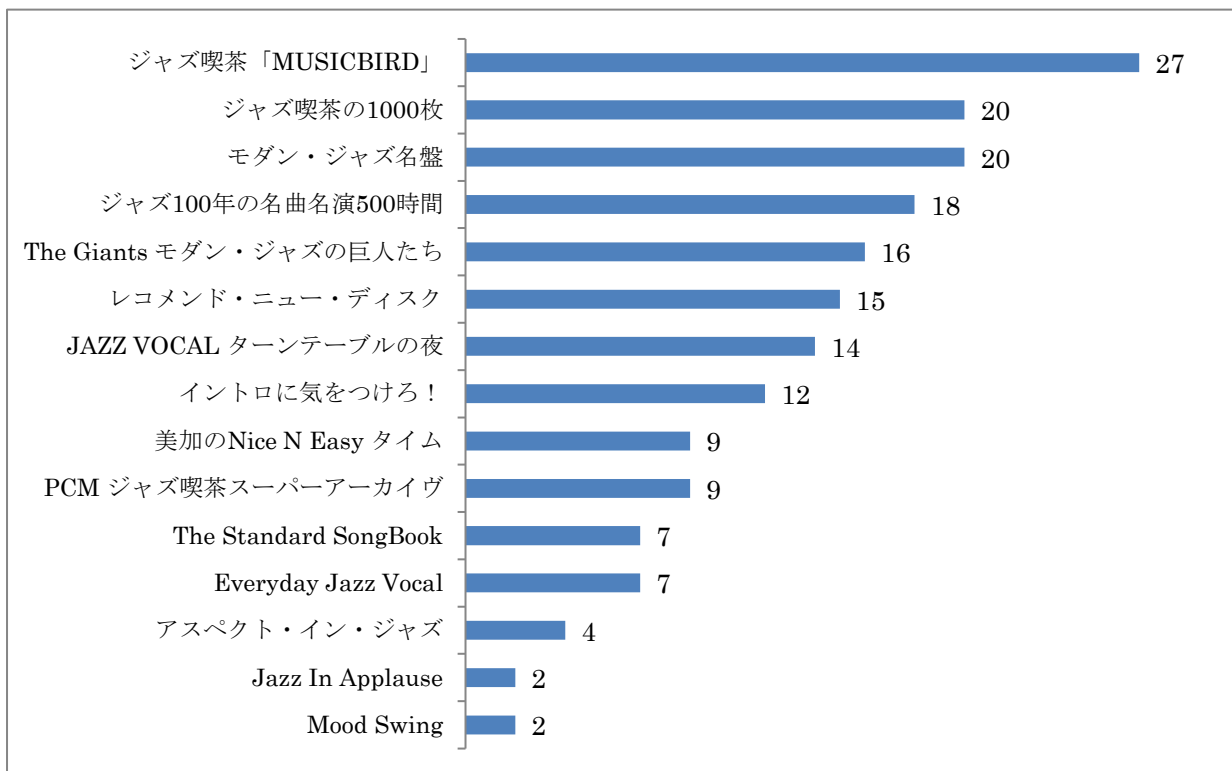
◎ミュージックバードの中でよく聴いているチャンネル（複数回答可）（110件の回答）



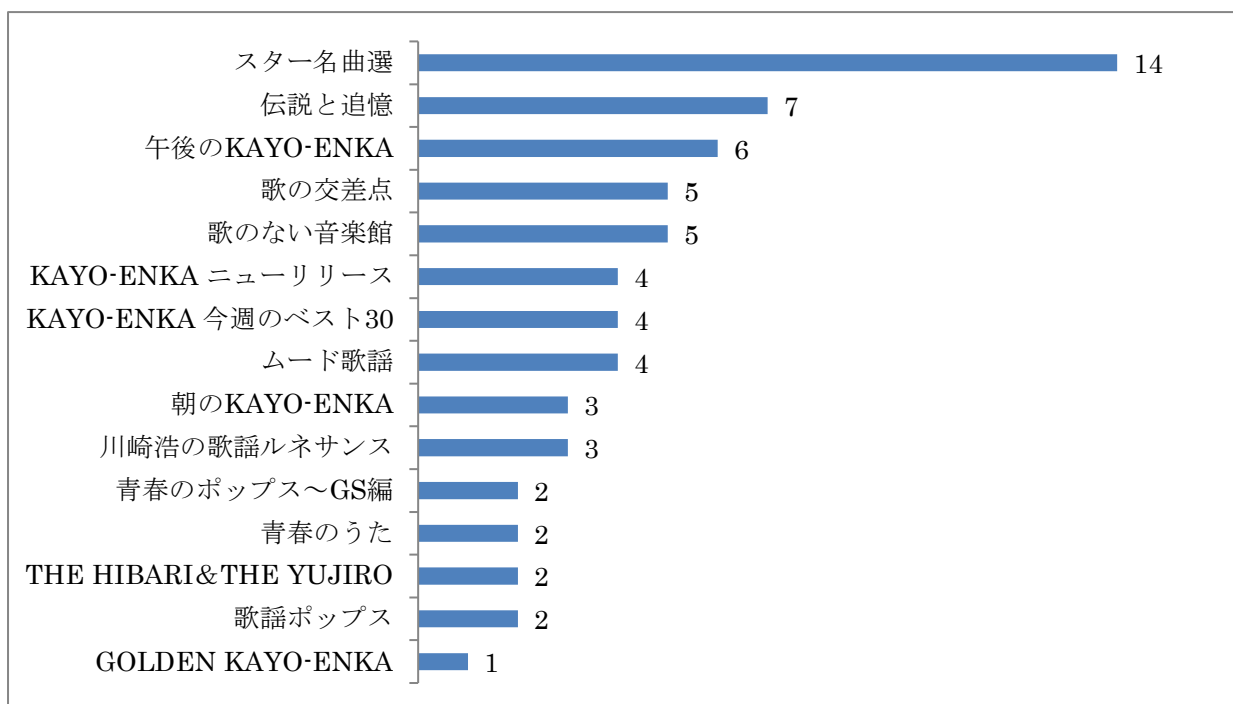
◎ 【121ch : THE CLASSIC】よく聴いている番組（複数回答可）（87 件の回答）



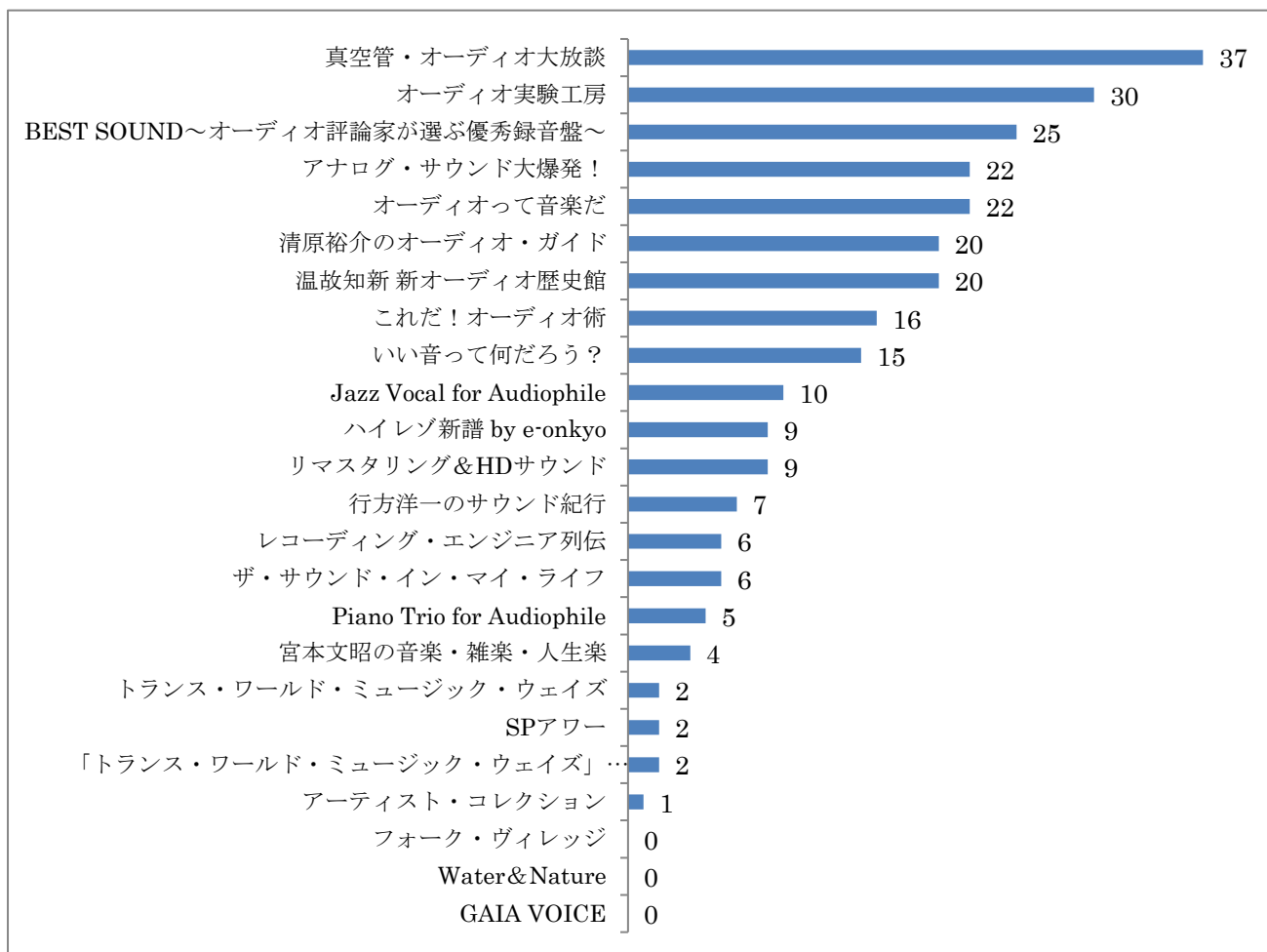
◎ 【122ch : THE JAZZ】よく聴いている番組（複数回答可）（47 件の回答）



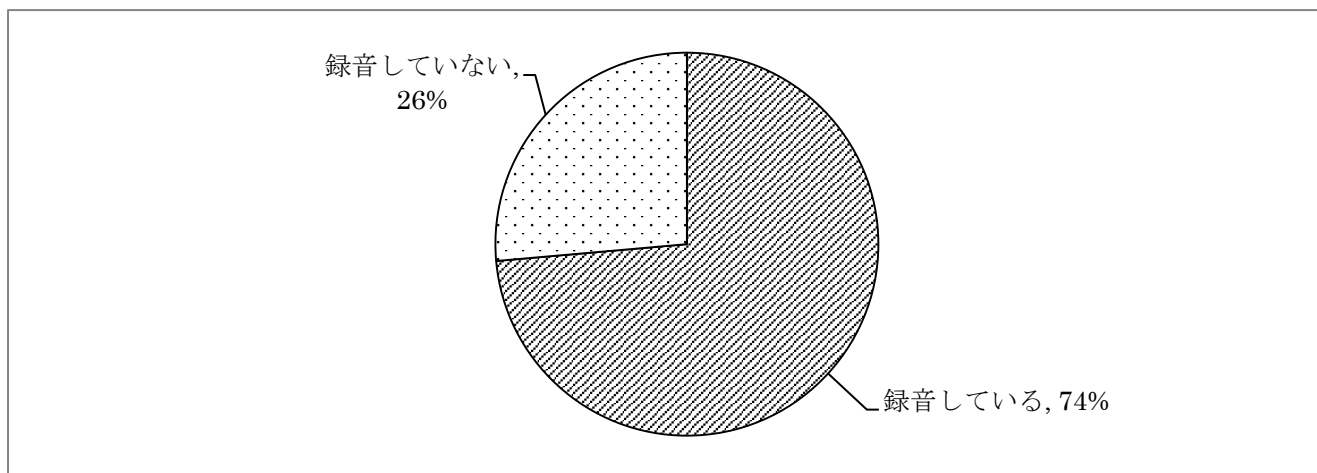
◎ 【123ch : THE KAYO-ENKA】 よく聴いている番組 (複数回答可) (23 件の回答)



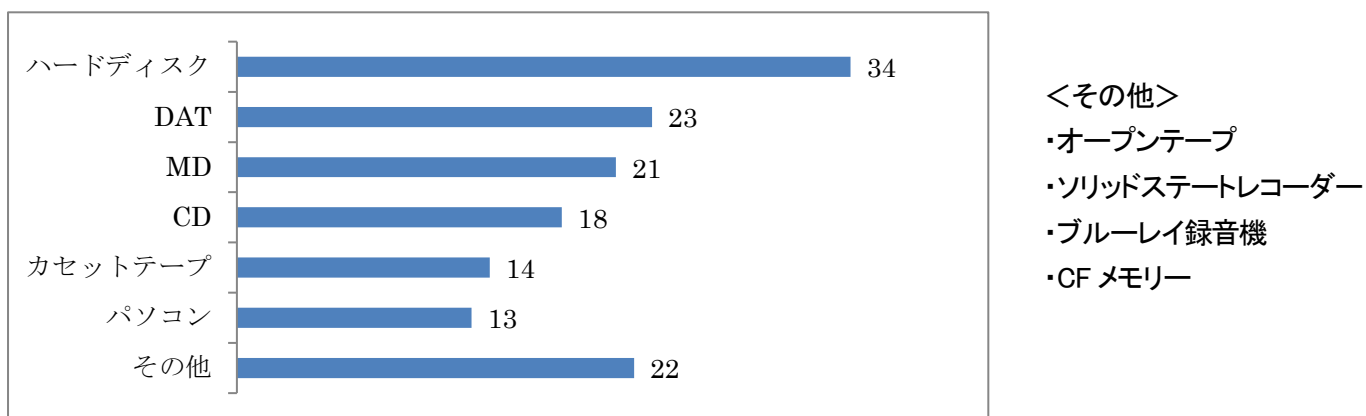
◎ 【124ch:THE AUDIO】 よく聴いている番組 (複数回答可) (58 件の回答)



◎番組を録音していますか？（110 件の回答）



◎利用している録音メディアを教えてください。（複数回答可）（82 件の回答）



◎ミュージックバード以外ではどのような音楽ソースをお楽しみですか？（複数回答可）（110 件の回答）

